

教科名	科目名	単位数	授業形態	学科（文・理）	履修年次
公民	政治・経済	2	一斉	普通科文系共通コース	3

教科書（発行所）	高等学校 改訂版 政治・経済（第一学習社）
教科書以外の教材	1 最新図説 政経（浜島書店） 2 政治・経済用語集（山川出版社）

目 標			広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解する。そして、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養う。また、良識ある社会人として必要な能力と態度を学ぶ。		
	学期	学習時期	学習事項	学習内容	考查等
学習のねらい	1 学期	4 月	第 1 編 現代の政治	○人権保障と法の支配 ○議会制民主主義と世界の政治体制	中間 考查
		5 月		○日本国憲法の基本原理 ○平和主義	
		6 月		○基本的人権の保障 ○国家の機能 ○地方自治 ○政治と選挙	期末 考查
		7 月		○国際政治	課題 考查
	2 学期	9 月	第 2 編 現代の経済	○経済原理 ○市場経済 ○経済成長と景気変動	中間 考查
		10 月		○金融 ○財政	
		11 月		○戦後の日本経済 ○消費者問題 ○労働問題 ○社会保障	卒業 考查
		12 月		○国際経済	
	3 学期	1 月	第 3 編 現代社会の諸課題	○現代日本の政治や経済の諸課題	
		2 月		○国際社会の政治や経済の諸課題	
		3 月			
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等			1 課題・提出物等の期限を守る。 2 プリントは空欄を埋めるだけでなく、説明を聞いてメモを取ったり、アンダーラインを引いたりする習慣をつける。プリントが自分の参考書代わりになるので、後から復習で活用できるようにまとめる。 3 最低でも週に 1 回は授業内容を振り返る。 4 様々なニュースに興味・関心を持って触れ、自分の視野を広げられるよう意識する。		

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	1 現代の社会のしくみやその成り立ちの経緯について基本的な知識を身につけている。 2 現代の社会の事象を理解するために、それらの知識を用いたり諸資料を読み解いたりして、効果的に活用することができる。	1 現代の社会の諸課題について、社会の変化をふまえつつ、多面的に考察し、公正に判断することができる。 2 自己の考えを、論理的に述べるることができる。	1 現代の社会のしくみについて、関心をもち、理解しようと努めている。 2 現代の社会が抱える課題について、改善・解決する方法を意欲的に追究することができる。
評価の方法	考查（定期考查・課題考查）および授業等において、知識・技能および思考力・判断力・表現力について問い、それをもとに、考查成績、課題提出状況、出欠状況、授業に臨む姿勢や意欲などを総合的に判断して評価する。		